XEAM

取扱説明書

REET/REET S

Ver.02

2020 年 9 月発行

(当製品の取扱説明書の最新版は弊社 HP からダウンロードしてご確認ください。)

目次

ページ数

はじめに・・1
安全運転のために・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・2
各部の取り扱いと操作・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・7
バッテリーに関して・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・17
バイクを運転する前に（乗車前点検）・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・19
バイクの運転後・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・20
電動バイクのメインテナンスについて・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・21
トラブルシューティング・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・22

⚠ お願い

- 操作前に取扱説明書(以降はマニュアルと表記)の遵守事項を読んで下さい。このマニュアルの指示に従わなかった場合、障害、財産損傷の恐れ、または保証が無効になる場合があります。
- 安全運転および交通ルールを守り、他の人も安全に通行できるように配慮して下さい。
- 乗車の際はPSCまたはSG、JISマークのある二輪車用ヘルメットを必ず装着して下さい。

はじめに

XEAM REET/REET Sをお買い上げいただきありがとうございます。

このマニュアルではXEAM REET/REET Sの正しい取り扱い方法や安全運転のしかたなどについて説明しています。

万一、取り扱いを誤ると重大な事故やケガ、トラブルの原因となります。運転される前に必ずこのマニュアルをお読み下さい。

このマニュアルでは正しい取り扱いに関する重要事項を下記のシンボルマークで表示しています。

警告	この指示に従わなかった場合、死亡、重傷、障害に至る恐れがあります。
注意	この指示に従わなかった場合、機器が破損する恐れがあります。
ポイント	正しい操作方法などのポイントを紹介しています。

・このマニュアルをお読み下さい。
・このマニュアルはいつでも参照できるよう大切に保管しておいて下さい。

安全運転のために

- バイクを操作しようとする前にこのマニュアルの指示を読んで従って下さい。
  このマニュアルまたはバイクに添付されている他の資料は大切に保管して下さい。
- バイクの操作前にこのマニュアルで指示されている乗車前点検を必ず行なって下さい。
- バイクの改造等を行なうと安全に操作できなくなる場合があります。
- このバイクをレース等の競技に使用しないで下さい。

注意 バイクの始動や操作の前に乗車前点検リストを必ず読み、実行して下さい。 （P19参照） 	警告 バイクに乗っている間のお客様には安全に関して適切な判断が必要となります。
警告 公道でバイクを操作する前に必ず適切な指導を受け、混雑していない場所で十分な練習を行なって下さい。 	警告 スピードの出し過ぎはお客様自身の他、周りの方々の死亡事故や重大な損害を引き起こすことになります。バイクに乗車している間、天候および交通事情を把握し、安全運転を行なって下さい。

警告

濡れている、滑りやすい、荒れている路面や傾斜路では細心の注意を払って運転して下さい。コントロールを失い、傷害、死亡、財産の損傷につながる危険があります。

警告

曲がるときには必ず減速して下さい。スピードを出したまま曲がるとコントロールを失い、死亡事故等の原因になる場合があります。傾斜した路面で曲がると転倒の危険が高まります。バイクがコントロールできるようになるまで、安全な場所で曲がる練習等をして下さい。

警告

バイクが異常な騒音や振動を発したら停止し、すぐに電源を切ってバイクの損傷を確認して下さい。異常な騒音や振動は部品の紛失または摩耗のサインです。

警告

このバイクをあらゆる競技やレース等に使用しないで下さい。傷害や損害をもたらす恐れがあります。

警告

アルコール、薬物、医薬品の影響下にある間はバイクに乗車しないで下さい。
お客様自身または周りの方々に危険を及ぼします。また、上記の状態での運転は法律で禁止されています。

注意

バイクの運転前にエアゲージを使用してタイヤのエア圧を確認して下さい。

モーターの安全

注意

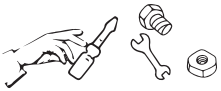
モーター部には泥等が付着していない状態にして下さい。

警告

正しくシートに座り、両手でハンドルを握るまでバイクを発進させないで下さい。

警告

モーターユニットに対する改造や変更は絶対に行なわないで下さい。これらの部品は工場で最良の状態に調整されております。モーターユニットの改造は運転者、周りの人々及びモーターそのものが危険となる恐れがあります。



警告

水、泥、雪、埃、砂等の環境下でバイクの操作をおこなうと、操作部等に水、泥、雪、埃、砂等が混入しアクセルの固着等でコントロールができなくなり、死亡、傷害、車体損傷につながる可能性があります。

締付部(ネジ/ナット類)

警告

すべてのネジ、ナット、ボルトがきちんと締付けられている事を確認して下さい。
可動部が適正に動かなくなるとコントロールを失い障害または死亡事故につながることがあります。

注意

ロックナットとその締付ネジを交換する場合は新しい部品を使用して下さい。

バッテリー充電

警告

・バッテリーを充電する前にコンセントを確認して下さい。
・バッテリー充電器が適合しているかを確認して下さい。
・モーターが稼働中はバッテリーに充電をしないで下さい。

100V

注意

・必ず純正のバッテリー充電器を使用して下さい。純正以外の充電器を使用すると火災や爆発を引き起こす危険があります。
・雨天時の屋外や水がかかる場所では充電しないで下さい。

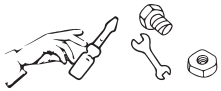
ポイント

・バッテリーが充電を開始すると充電器のランプが緑色から赤色に変わります。
・バッテリーが充電を完了すると充電器のランプが赤色から緑色に変わります。

メインテナンス

注意

本バイクの組み立て、メインテナンス、修理は安全性を確保する為、販売店に依頼して下さい。



警告

0℃以下で車両を洗車や操作をしないで下さい。極端な冷寒、温暖時には故障及び正常な操作ができなくなる恐れがあるので使用は控えて下さい。

注意

バイクを改造しないで下さい。

警告

車両の整備を行う場合はバイクが不意に動かないよう必ず電源を切って下さい。

乗車に際して

警告	バイクを操作する際はこのマニュアルの指示に従って下さい。 関連する法規を理解し、遵守する責任があります。

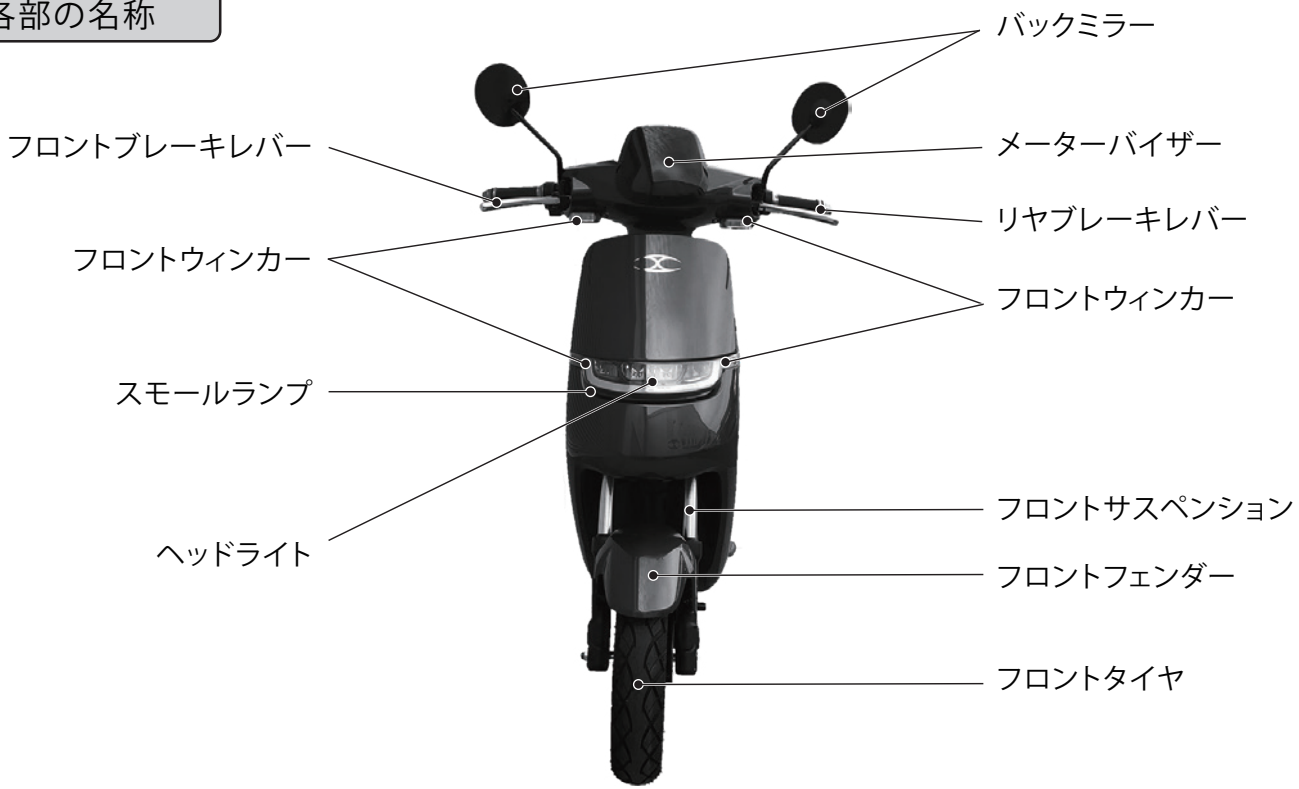
乗車手順

・リヤブレーキを掛け、リヤグリップを持ち、車体を前へ押してセンタースタンドを外します。
　もしくは車体を直立させ、サイドスタンドを足で収納します。
・右足をフロアーに乗せ、シートに座ります。
・キーを操作をして電源をON位置に回します。
・(REET Sのみ)右側スイッチの「R」ボタンを押すと発進準備が完了します。
・アクセルグリップを回すと発信します。
※ハンドルには物を掛けないようにして下さい。ハンドル操作に支障が出ます。

警告	バイクに乗る際は安全性が認証されたヘルメット、ゴーグル等の保護具、グローブ、踵の出ないシューズを着用して下さい。
警告	センタースタンドを外して発進して下さい。又、サイドスタンドがきちんと収納された状態を確認して発進して下さい。

各部の取り扱いと操作

各部の名称

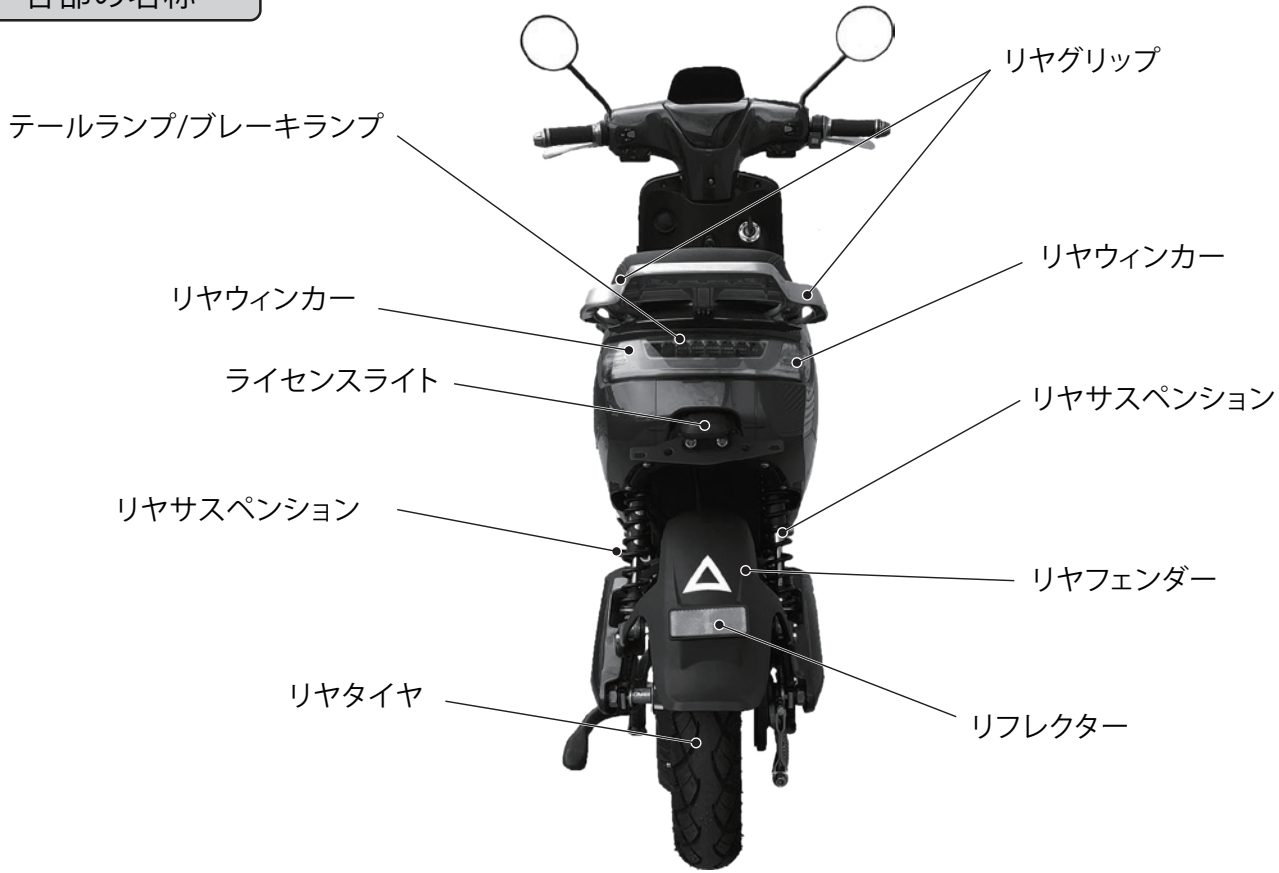


各部の取り扱いと操作

各部の名称

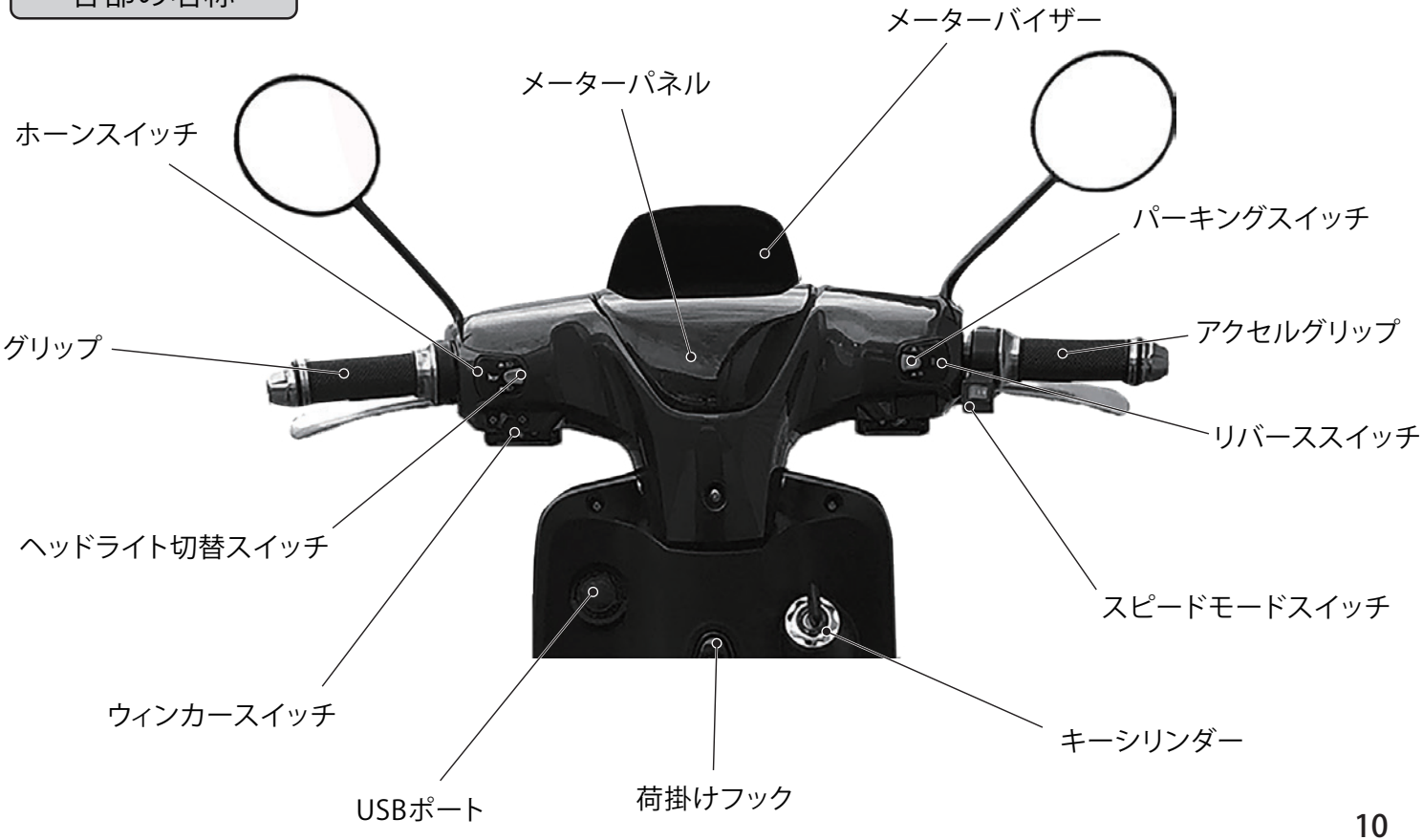
各部の取り扱いと操作

各部の名称



各部の取り扱いと操作

各部の名称



キーシリンダー

キーシリンダーには右図の4つのポジションがあります。

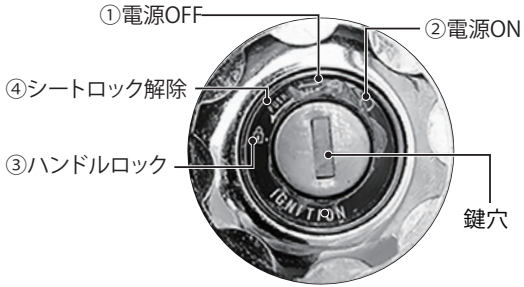
①**電源 OFF**：電源が OFF になり、キーを抜く事ができます。

②**電源 ON**：電源が入り、走行が可能になります。キーを抜く事はできません。

③**ハンドルロック**：ハンドルがロックされキーを抜く事ができます。

・キーの位置が電源 OFF の状態でハンドルを左側いっぱいに切り、キーを押しながら LOCK 位置に回す事でハンドルロックができます。

④**シートロック解錠**：シートのロックが解錠され、シートを開ける事ができます。



電源をONにする

・キーをキーシリンダーに差込み、「ON」位置までキーを回す事で電源が入ります。

ポイント	・電源が入るとメーターパネル内の表示部分が全点灯します。 ・警告表示が消灯したら発進準備が整った状態です。

電源をOFFにする

・キーを「OFF」位置までキーを回す事で電源が切れます。

ポイント	車両から離れる場合は必ずハンドルロックをおかけ下さい。

リバース機能

・停車します。

・右手で「リバーススイッチ(Rマーク)」を押したままアクセルグリップを回します。

・微速で後進ができます。

※後方を視認し、安全に注意しながら走行してください。

リバーススイッチ(Rマーク)

右側ハンドルスイッチ

①**パーキングスイッチ**：スイッチを押し込むとアクセルグリップを回しても発進できません。もう一度押すと発進が可能になります。

②**リバーススイッチ**:スイッチを押しながらアクセルグリップを回すと微速で後進ができます。(REET S のみ) キーを ON まで回した後にスイッチを押した後アクセルグリップを回すと発進できます。

③**スピードモードスイッチ**：下記の様にスピード及びバッテリー消費モードを選べます。

Ⅰ:エコモード	最も低い最高速度	バッテリー消費が最も遅く航続距離が最も長い
Ⅱ:ノーマルモード	Ⅰ＜ Ⅱの最高速度＜ Ⅲ	Ⅰよりバッテリー消費とスピードが早く航続距離も短くなる
Ⅲ:パワフルモード	最も高い最高速度	バッテリー消費が最も早く航続距離が最も短い

左側ハンドルスイッチ

①**ホーンスイッチ**：スイッチを押している間ホーンが鳴ります。

②**ヘッドライト切替スイッチ**：スイッチを押し込むとハイビーム、もう一度押すとロービームになります。

③**ウィンカースイッチ**：左折時は左に、右折時は右にスイッチを操作するとウィンカーが点滅します。
操作後スイッチは中立位置に戻ります。
右左折終了後、スイッチを前側に押し込むとウィンカーの点滅がキャンセルされます。

メーター

①**スピードメーター**：現在の走行速度(km/h)を表示します。

②**オドメーター**：総走行距離(km)を表示します。

③**バッテリーメーター**：バッテリーの残量を表示します。

④**ウィンカー作動**：ウィンカー作動時に作動側(右/左)が表示されます。
ウィンカーの非作動時は表示されません。

⑤**スピードモード**：選択されているスピードモードを表示します。
Ⅰ：エコモード
Ⅱ：ノーマルモード
Ⅲ：パワフルモード

⑥**警告表示**：車両に故障が発生した場合、故障個所を示す警告灯が表示されます。

ポイント	・電源が入るとメーターパネル内の表示部分が全点灯します。 ・警告表示が消灯したら発進準備が整った状態です。

※警告灯が表示された場合、速やかに販売店にて修理を依頼して下さい。

警告灯表示例 など

バッテリーに関して

バッテリー充電に関する注意事項

本注意事項に則り取り扱って下さい。バッテリーの劣化、故障に繋がります。

1. 購入時、又は長期間使用しなかった場合、24 時間連続充電して使用して下さい。
2. 目安として 2 か月に 1 回は 24 時間連続充電を行うとバッテリーの劣化を抑制できます。
3. 交流の 100V コンセントに充電器を接続して下さい。
4. 充電を行う際は充電器をバイクに接続してからコンセントに接続して下さい。
5. 充電を開始すると充電器のランプが緑色から赤色に、充電が完了するとランプが赤色から緑色に変わります。
6. 充電器に衝撃を加えない様にして下さい。充電器が破損する恐れがあります。
7. 充電器は湿気、埃、高温環境下でない所で使用して下さい。
8. 充電器は作動中熱くなります。通気性が良いところに保管し、可燃物から離れた場所で使用して下さい。
9. お子様の手の届かない場所に保管して下さい。
10. ケーブル等が破損した場合は交換が必要です。分解や修理等しないで下さい。行った場合、保証されません。
11. 充電器は本製品の充電に使用する為に設計、製造されています。それ以外の目的で使用しないで下さい。
12. 本バッテリーはリチウムバッテリーです。充電頻度は使用の都度充電する様にして下さい。
13. 本バッテリーは急速充電には対応しておりません。
14. 上記注意事項に則らずに間違った使用での故障については保証されません。

※バッテリーを廃棄される場合は販売店に問い合わせをお願いします。

バッテリーの脱着

バッテリーの取り出し

①電源を OFF にしシートロックの解錠後、シートを開けます。

②バッテリーカバー内のシリンダーにキーを挿し込み、左 / 右に 90°回してロックを解錠します。

③バッテリーカバーを開けます。

④バッテリーカバーを開けた後、キーを抜いて下さい。キーを挿し込んだままシートを閉めると
キーを閉じ込めてしまいます。

⑤バッテリーに接続されたバッテリーケーブルを抜き、バッテリーを取り出します。

バッテリーの収納

①バッテリーを収納してバッテリーケーブルをバッテリーに差込みます。

②バッテリーカバーを閉めます。

③バッテリーカバー内のシリンダーにキーを挿し込み、左 / 右に 90°回してロックを施錠します。

④バッテリーカバーを閉めた後、キーを抜いて下さい。キーを挿し込んだままシートを閉めると
キーを閉じ込めてしまいます。

⑤シートを閉めます。

バイクを運転する前に（乗車前点検）

下記の項目を確認後、乗車して下さい。

1.タイヤ

・前後タイヤの溝が無くなっていない事。

・前後タイヤの空気圧が225kPaになっている事。

2.アクセルグリップ

・スムーズな操作ができる事。引っ掛かりがなく、手を離すと戻る事。

3.締付部(ネジ/ナット類)

・アクスルナットが緩んでいない事。

・各締付部が固定されている事。

4.ハンドル

・スムーズな操作ができる事。

5.バッテリー

・バッテリーケーブルがきちんと挿し込まれている事。

・バッテリー接続端子に錆等がない事。錆が有った場合は錆を除去する事。

6.灯火器類

・ヘッドライト/テールランプ/ブレーキランプ/ウィンカー等が作動する事。

※上記確認結果、不具合があった場合、運転を中止し、販売店に修理を依頼して下さい。

バイクの運転後

バイクの停止

ブレーキをかける際はフロントブレーキを主にかけ、リヤブレーキはあまり強くかけないで下さい。

警告

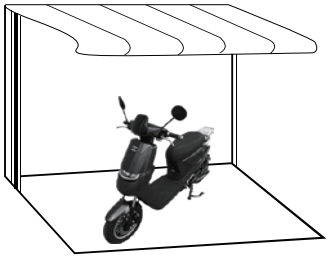
濡れている、滑りやすい、荒れている路面でブレーキを強くかけるとコントロールを失いやすい為、余裕をもったブレーキ操作をして下さい。

ポイント

運転終了後キーをONのままだとバッテリーを消費する為、必ずOFFにして下さい。

駐車

・駐車する際は平坦で傾斜していない場所に駐車して下さい
・駐車する際は盗難防止の為、ハンドルロックをして下さい。
・自宅での駐車は屋内、もしくはバイクカバー等で雨等が直接バイクにかからない様にして下さい。
・長期間運転をしない場合は、バッテリーのブレーカースイッチを OFF にし、2 か月に 1 回は 24 時間連続充電を行ってください。



電動バイクのメインテナンスについて

バイクに長く安全に乗って頂く為、以下のメインテナンスを行って下さい。

項目	メンテナンス内容	頻度	対象
乗車前点検	P19参照	毎回	運転者
バッテリー	バッテリー残量の確認	毎回	運転者
タイヤ	表面への異物付着の有無	毎回	運転者
前後ブレーキ	ブレーキの効き具合	毎回	運転者
前後アクスル	締付具合の確認	1年毎	販売店
前後サスペンション	作動具合の確認	1年毎	販売店

トラブルシューティング

バイクのトラブルを解決する為のガイドです。トラブルが解決しない場合は販売店に相談下さい。

状態	原因	解決方法
・バイクが動かない ・走行不能	1. キーが ON になっていない 2. バッテリーのブレーカー スイッチが OFF になっている 3. バッテリー残量が少ない 4. バッテリーケーブルが外れている	1.キーをONにする 2.バッテリーのブレーカースイッチ をONにする 3.バッテリーを充電する 4.バッテリーケーブルを接続する
走行中にバイクが ふらつく	1. タイヤの空気圧が低い 2. ホイール締め付けが緩んでいる 3. ハンドル部にガタが発生している	1.タイヤの空気圧を適正にする 2.販売店に相談下さい 3.販売店に相談下さい
走行距離が短い	1. 毎回充電をしていない 2. バッテリーの不良又は劣化 3. 寒冷下でバッテリー性能が 下がっている 4. 充電器の故障	1.走行毎に充電する 2.販売店に相談下さい 3.常温下に保管し充電する 4.販売店に相談下さい
ブレーキの鳴き	1.(フロント) ブレーキパッドに異物噛み込み 2.(リヤ) ブレーキシューの偏摩耗	1.販売店に相談下さい 2.販売店に相談下さい

上記内容以外のトラブルが発生した場合は販売店または弊社に問い合わせて下さい。

問い合わせ

バイクについてのお問い合わせ、ご相談は、まず取扱店にお気軽にご連絡ください。

取扱店

TEL

メーカーへのお問い合わせは、下記でお受けしています。

EV　バイク　ゴー!

0120-15-8195

（受付時間：10：00 ～ 19：00）

企画販売元：株式会社　MS ソリューションズ
〒812-0038　福岡市博多区祇園町 7 番 20 号 博多祇園センタープレイス 9F
FAX：092-406-7652　MAIL：info_xeam@mssjapan.jp（24 時間受付）

保　証　書

製品保証について

保証書に記載の対象車両の保証部位に、材料上もしくは製造上の不具合等による故障が発生した場合、無償で修復させて頂きます。なお、弊社の指示、承諾を得ずに改造等を行った車両については全て保証対象外とさせて頂きます。
※一般的な使用用途外 (レース場での使用等) についても保証対象外とさせて頂きます。

保証対象部品…フレーム・フロントフォーク・スイングアーム・ホイール・リヤサスペンション・ブレーキ・ステアリング・電動機・コントローラー・走行用バッテリー・その他メーカーが定めた主要部品。

保証適用外の範囲…外装部品・シート・消耗部品（ブレーキパッド・ブレーキシュー・タイヤ・ゴム類・油脂類等・ブレーキディスク・電球類・ヒューズ等）・その他メーカーが定めた部品

車両の譲渡について詳しくは、WEB ページをご覧ください。https://www.xeam.jp/

1カ月点検について

新車登録または届け出をされてから 1 カ月を目安に行う点検です。この時期の点検は車両寿命に影響を与えることが多い事から、新車登録または届け出をされてから約 1 カ月（または 1000 ㎞時）の点検を弊社提携店舗にて実施致します。直営店 (WEB 販売含む) にてご購入頂いた場合は無料にてお受付致します。有効期間を過ぎますと、有料となります。（有効期間：新規登録もしくは届け出をしてから約 1 カ月もしくは有効期限内に走行距離が 1000 ㎞を超える場合は、1000 ㎞走行時となります。）

● 1 カ月の点検内容

- 電動機の低速及び加速の状態の点検
- リム及びホイールディスクの損傷の点検
- ブレーキの利き具合の点検
- ブレーキロッド及びケーブル類の緩み、がた、損傷等の点検
- タイヤの空気圧亀裂、損傷、異状摩耗、溝の深さ
- ブレーキホース及びパイプの液漏れ、損傷、取り付け状況の点検

定期点検について

2007 年 4 月 1 日より『道路運送車両法』の改正等により、2007 年 4 月 1 日以降の新車登録車より、以下の内容での定期点検内容に変更となりました。

- 6 カ月点検の廃止
- 走行距離加味点検とシビアコンディション点検の設定

点検の種類について

● 日常点検

法もしくは法に準じてユーザー様自身で日々の車両の状況、状態に応じてユーザー様自らが適宜行う点検です。走行前、充電前、洗車前等に行ってください。

- ブレーキ（前後）レバー（ペダル）の遊び、きき具合
- ブレーキ液の量（前）
- 灯火装置および方向指示器
- 低速・加速の状態
- タイヤの空気圧亀裂、損傷、異状摩耗、溝の深さ
- 運行において異状が認められた箇所

● シビアコンディション点検

通常使用より過酷な状況で車両を使用した場合、部品の劣化や破損等が通常より早く進行してしまうケースがございます。それを早期に発見する為に整備士が 6 カ月ごとに行う点検の事をさします。シビアコンディションの目安、状況については以下の通りです。

- 坂道や山道の走行が全走行の30%以上を占めている。またそれに伴うブレーキの使用が多い。
- 走行距離が半年で 3000 ㎞以上である。
- 未舗装路や凸凹道の走行が全走行の 30%以上を占めている。

※整備点検等でご不明な点は販売店、取次店にご相談ください

保証有効期間について

☑ 店舗でご購入	：登録日から 1 年間または 5,000km 走行時
☑ 当社 HP でご購入	：出荷日から 1 年間または 5,000km 走行時
☑ Amazon でご購入	：出荷日から 2 年間または 10,000km 走行時
☑ 景品・特典で譲渡	：当社卸し日から 1 年間または 5,000km 走行時

※年数、km は早く到達した方を適用

ご購入日　　年　　月　　日

※「景品・特典で譲渡」の場合は、卸し日を記載してください。

氏名　　様　　TEL　　-　　-

〒

住所

登録番号

車名　　車台番号

1ヶ月点検整備記録簿（電動車）

二輪車	該当なし	／	交換	×	締付	T
	点検	✓	修理	△	清掃	C
	分解	○	調整	A	給油	L

●参照事項
※1 各変速モードで作動させ、うなり音等の異音の有無を確認お願い致します。
※2 ステム緩み止めナットの状態確認要。
※3 タイヤ溝深さ→1.6mm 以上
※4 タイヤ規定空気圧→250kpa

電動機点検

■ 本体

- [ ] 電動機の作動状態・異音の有無※1
- [/] 低速・加速の状態

ステアリング装置点検

■ ハンドル

- [ ] 操作具合

■ フロントフォーク

- [ ] 損傷
- [ ] ステアリングステムの取付状態※2
- [/] ステアリングステムの軸受け部のがた

電気・保安装置点検

■ 走行用バッテリー

- [ ] 本体の損傷・ターミナル部の緩み損傷の有無

■ スイッチ類

- [ ] 灯火装置・方向指示器の作用
- [ ] ホーン・ハンドルロック装置の作用
- [ ] 計器の作用

ブレーキ点検

■ ブレーキペダル及びブレーキレバー

- [ ] 遊び
- [ ] ブレーキのきき具合

■ ロッド及びケーブル類

- [ ] 緩み・がた・損傷

■ ホース及びパイプ

- [ ] 漏れ・損傷・取付状態

■ リザーバタンク（フロントブレーキ）

- [ ] ブレーキ液の量

足回り点検

■ ホイール

- [ ] タイヤの空気圧※3
- [ ] タイヤの亀裂・損傷の有無
- [ ] タイヤの溝の深さ・異常な磨耗※4
- [ ] ホイールのボルト・ナットの緩み

■ ショックアブソーバー

- [ ] 損傷・オイル漏れの有無

その他

- [ ] 外観樹脂パーツの損傷の有無

■ その他必要となった点検整備の内容及び主な交換部品／記事等

車両番号
初度登録年又は初年度検査年
車台番号
点検時の総走行距離
km
点検年月日
年　月　日
整備完了日
年　月　日
タイヤの溝の深さ
F　mm　R　mm
ブレーキパッド残量
F　mm　R　mm

点検又は整備を実施した者の氏名
印
住所
〒

定期点検整備記録簿（電動車）

二輪車						
	該当なし	／	交換	×	締付	T
	点検	✓	修理	△	清掃	C
	分解	○	調整	A	給油	L

● 6ヵ月点検整備……
●12ヵ月点検整備……＋
※納車時点検は6ヵ月点検に準ずる

電動機点検

■ 本体
- 電動機の作動状態・異音の有無
- 低速・加速の状態

ステアリング装置点検

■ ハンドル
- 操作具合

■ フロントフォーク
- 損傷
- ステアリングステムの取付状態
- ステアリングステムの軸受け部のがた

足回り点検

■ ホイール
- タイヤの空気圧
- タイヤの亀裂・損傷の有無
- タイヤの溝の深さ・異常な磨耗
- ホイールのボルト・ナットの緩み
- フロントホイールベアリングのがた
- リヤホイールベアリングのがた

■ サスペンションアーム
- 連結部のがた・アームの損傷

■ ショックアブソーバー
- 損傷・オイル漏れの有無

その他

- フレームの緩み・損傷
- シャシ各部の給油脂状態

ブレーキ点検

■ ブレーキペダル及びブレーキレバー
- 遊び
- ブレーキのきき具合

■ ロッド及びケーブル類
- 緩み・がた・損傷

■ ホース及びパイプ
- 漏れ・損傷・取付状態

■ リザーバタンク
- ブレーキ液の量

■ マスタシリンダ・ホイールシリンダ及びディスクキャリパ
- 機能・磨耗・損傷

■ ブレーキドラム及びブレーキシュー
- ドラムとライニングのすき間
- シューの摺動部分・ライニングの磨耗

電気・保安装置点検

■ バッテリー
- 本体の損傷・ターミナル部の緩み損傷の有無

■ 電気配線
- 接続部の緩み損傷

■ スイッチ類
- 灯火装置・方向指示器の作用
- ホーン・ハンドルロック装置の作用
- 計器の作用

■ その他必要となった点検整備の内容及び主な交換部品 / 記事等

車両番号
初度登録年又は初年度検査年
車台番号
点検時の総走行距離
km
点検年月日
年　月　日
整備完了日
年　月　日
タイヤの溝の深さ
F　mm　R　mm
ブレーキパッド残量
F　mm　R　mm

点検又は整備を実施した者の氏名
印
住所
〒

定期点検整備記録簿（電動車）

二輪車						
	該当なし	／	交換	×	締付	T
	点検	✓	修理	△	清掃	C
	分解	○	調整	A	給油	L

● 6ヵ月点検整備……
●12ヵ月点検整備……＋
※納車時点検は6ヵ月点検に準ずる

電動機点検

■本体
- 電動機の作動状態・異音の有無
- 低速・加速の状態

ステアリング装置点検

■ハンドル
- 操作具合

■フロントフォーク
- 損傷
- ステアリングステムの取付状態
- ステアリングステムの軸受け部のがた

足回り点検

■ホイール
- タイヤの空気圧
- タイヤの亀裂・損傷の有無
- タイヤの溝の深さ・異常な磨耗
- ホイールのボルト・ナットの緩み
- フロントホイールベアリングのがた
- リヤホイールベアリングのがた

■サスペンションアーム
- 連結部のがた・アームの損傷

■ショックアブソーバー
- 損傷・オイル漏れの有無

その他

- フレームの緩み・損傷
- シャシ各部の給油脂状態

ブレーキ点検

■ブレーキペダル及びブレーキレバー
- 遊び
- ブレーキのきき具合

■ロッド及びケーブル類
- 緩み・がた・損傷

■ホース及びパイプ
- 漏れ・損傷・取付状態

■リザーバタンク
- ブレーキ液の量

■マスタシリンダ・ホイールシリンダ及びディスクキャリパ
- 機能・磨耗・損傷

■ブレーキドラム及びブレーキシュー
- ドラムとライニングのすき間
- シューの摺動部分・ライニングの磨耗

電気・保安装置点検

■バッテリー
- 本体の損傷・ターミナル部の緩み損傷の有無

■電気配線
- 接続部の緩み損傷

■スイッチ類
- 灯火装置・方向指示器の作用
- ホーン・ハンドルロック装置の作用
- 計器の作用

■その他必要となった点検整備の内容及び主な交換部品 / 記事等

車両番号
初度登録年又は初年度検査年
車台番号
点検時の総走行距離
km
点検年月日
年　月　日
整備完了日
年　月　日
タイヤの溝の深さ
F　mm　R　mm
ブレーキパッド残量
F　mm　R　mm

点検又は整備を実施した者の氏名
印
住所
〒

定期点検整備記録簿（電動車）

二輪車						
	該当なし	／	交換	×	締付	T
	点検	✓	修理	△	清掃	C
	分解	○	調整	A	給油	L

● 6ヵ月点検整備……
●12ヵ月点検整備……＋
※納車時点検は6ヵ月点検に準ずる

電動機点検

■ 本体
- 電動機の作動状態・異音の有無
- 低速・加速の状態

ステアリング装置点検

■ ハンドル
- 操作具合

■ フロントフォーク
- 損傷
- ステアリングステムの取付状態
- ステアリングステムの軸受け部のがた

足回り点検

■ ホイール
- タイヤの空気圧
- タイヤの亀裂・損傷の有無
- タイヤの溝の深さ・異常な磨耗
- ホイールのボルト・ナットの緩み
- フロントホイールベアリングのがた
- リヤホイールベアリングのがた

■ サスペンションアーム
- 連結部のがた・アームの損傷

■ ショックアブソーバー
- 損傷・オイル漏れの有無

その他

- フレームの緩み・損傷
- シャシ各部の給油脂状態

ブレーキ点検

■ ブレーキペダル及びブレーキレバー
- 遊び
- ブレーキのきき具合

■ ロッド及びケーブル類
- 緩み・がた・損傷

■ ホース及びパイプ
- 漏れ・損傷・取付状態

■ リザーバタンク
- ブレーキ液の量

■ マスタシリンダ・ホイールシリンダ及びディスクキャリパ
- 機能・磨耗・損傷

■ ブレーキドラム及びブレーキシュー
- ドラムとライニングのすき間
- シューの摺動部分・ライニングの磨耗

電気・保安装置点検

■ バッテリー
- 本体の損傷・ターミナル部の緩み損傷の有無

■ 電気配線
- 接続部の緩み損傷

■ スイッチ類
- 灯火装置・方向指示器の作用
- ホーン・ハンドルロック装置の作用
- 計器の作用

■ その他必要となった点検整備の内容及び主な交換部品 / 記事等

車両番号
初度登録年又は初年度検査年
車台番号
点検時の総走行距離
km
点検年月日
年　月　日
整備完了日
年　月　日
タイヤの溝の深さ
F　mm　R　mm
ブレーキパッド残量
F　mm　R　mm

点検又は整備を実施した者の氏名
印
住所
〒

定期点検整備記録簿（電動車）

二輪車	該当なし	／	交換	×	締付	T
	点検	✓	修理	△	清掃	C
	分解	○	調整	A	給油	L

● 6ヵ月点検整備……
●12ヵ月点検整備……＋
※納車時点検は6ヵ月点検に準ずる

電動機点検

■ 本体
- 電動機の作動状態・異音の有無
- 低速・加速の状態

ステアリング装置点検

■ ハンドル
- 操作具合

■ フロントフォーク
- 損傷
- ステアリングステムの取付状態
- ステアリングステムの軸受け部のがた

足回り点検

■ ホイール
- タイヤの空気圧
- タイヤの亀裂・損傷の有無
- タイヤの溝の深さ・異常な磨耗
- ホイールのボルト・ナットの緩み
- フロントホイールベアリングのがた
- リヤホイールベアリングのがた

■ サスペンションアーム
- 連結部のがた・アームの損傷

■ ショックアブソーバー
- 損傷・オイル漏れの有無

その他

- フレームの緩み・損傷
- シャシ各部の給油脂状態

ブレーキ点検

■ ブレーキペダル及びブレーキレバー
- 遊び
- ブレーキのきき具合

■ ロッド及びケーブル類
- 緩み・がた・損傷

■ ホース及びパイプ
- 漏れ・損傷・取付状態

■ リザーバタンク
- ブレーキ液の量

■ マスタシリンダ・ホイールシリンダ及びディスクキャリパ
- 機能・磨耗・損傷

■ ブレーキドラム及びブレーキシュー
- ドラムとライニングのすき間
- シューの摺動部分・ライニングの磨耗

電気・保安装置点検

■ バッテリー
- 本体の損傷・ターミナル部の緩み損傷の有無

■ 電気配線
- 接続部の緩み損傷

■ スイッチ類
- 灯火装置・方向指示器の作用
- ホーン・ハンドルロック装置の作用
- 計器の作用

■ その他必要となった点検整備の内容及び主な交換部品 / 記事等

車両番号
初度登録年又は初年度検査年
車台番号
点検時の総走行距離
km
点検年月日
年　月　日
整備完了日
年　月　日
タイヤの溝の深さ
F　mm　R　mm
ブレーキパッド残量
F　mm　R　mm

点検又は整備を実施した者の氏名
印
住所
〒

定期点検整備記録簿（電動車）

二輪車	該当なし	／	交換	×	締付	T
	点検	✓	修理	△	清掃	C
	分解	○	調整	A	給油	L

● 6 ヵ月点検整備……
●12 ヵ月点検整備……　＋
※納車時点検は 6 ヵ月点検に準ずる

電動機点検

■ 本体

- 電動機の作動状態・異音の有無
- 低速・加速の状態

ステアリング装置点検

■ ハンドル

- 操作具合

■ フロントフォーク

- 損傷
- ステアリングステムの取付状態
- ステアリングステムの軸受け部のがた

足回り点検

■ ホイール

- タイヤの空気圧
- タイヤの亀裂・損傷の有無
- タイヤの溝の深さ・異常な磨耗
- ホイールのボルト・ナットの緩み
- フロントホイールベアリングのがた
- リヤホイールベアリングのがた

■ サスペンションアーム

- 連結部のがた・アームの損傷

■ ショックアブソーバー

- 損傷・オイル漏れの有無

その他

- フレームの緩み・損傷
- シャシ各部の給油脂状態

ブレーキ点検

■ ブレーキペダル及びブレーキレバー

- 遊び
- ブレーキのきき具合

■ ロッド及びケーブル類

- 緩み・がた・損傷

■ ホース及びパイプ

- 漏れ・損傷・取付状態

■ リザーバタンク

- ブレーキ液の量

■ マスタシリンダ・ホイールシリンダ及びディスクキャリパ

- 機能・磨耗・損傷

■ ブレーキドラム及びブレーキシュー

- ドラムとライニングのすき間
- シューの摺動部分・ライニングの磨耗

電気・保安装置点検

■ バッテリー

- 本体の損傷・ターミナル部の緩み損傷の有無

■ 電気配線

- 接続部の緩み損傷

■ スイッチ類

- 灯火装置・方向指示器の作用
- ホーン・ハンドルロック装置の作用
- 計器の作用

■ その他必要となった点検整備の内容及び主な交換部品 / 記事等

車両番号
初度登録年又は初年度検査年
車台番号
点検時の総走行距離
km
点検年月日
年　月　日
整備完了日
年　月　日
タイヤの溝の深さ
F　mm　R　mm
ブレーキパッド残量
F　mm　R　mm

点検又は整備を実施した者の氏名
印
住所
〒

定期点検整備記録簿（電動車）

二輪車						
	該当なし	／	交換	×	締付	T
	点検	✓	修理	△	清掃	C
	分解	○	調整	A	給油	L

● 6ヵ月点検整備……
●12ヵ月点検整備……＋
※納車時点検は6ヵ月点検に準ずる

電動機点検

■ 本体
- 電動機の作動状態・異音の有無
- 低速・加速の状態

ステアリング装置点検

■ ハンドル
- 操作具合

■ フロントフォーク
- 損傷
- ステアリングステムの取付状態
- ステアリングステムの軸受け部のがた

足回り点検

■ ホイール
- タイヤの空気圧
- タイヤの亀裂・損傷の有無
- タイヤの溝の深さ・異常な磨耗
- ホイールのボルト・ナットの緩み
- フロントホイールベアリングのがた
- リヤホイールベアリングのがた

■ サスペンションアーム
- 連結部のがた・アームの損傷

■ ショックアブソーバー
- 損傷・オイル漏れの有無

その他

- フレームの緩み・損傷
- シャシ各部の給油脂状態

ブレーキ点検

■ ブレーキペダル及びブレーキレバー
- 遊び
- ブレーキのきき具合

■ ロッド及びケーブル類
- 緩み・がた・損傷

■ ホース及びパイプ
- 漏れ・損傷・取付状態

■ リザーバタンク
- ブレーキ液の量

■ マスタシリンダ・ホイールシリンダ及びディスクキャリパ
- 機能・磨耗・損傷

■ ブレーキドラム及びブレーキシュー
- ドラムとライニングのすき間
- シューの摺動部分・ライニングの磨耗

電気・保安装置点検

■ バッテリー
- 本体の損傷・ターミナル部の緩み損傷の有無

■ 電気配線
- 接続部の緩み損傷

■ スイッチ類
- 灯火装置・方向指示器の作用
- ホーン・ハンドルロック装置の作用
- 計器の作用

■ その他必要となった点検整備の内容及び主な交換部品 / 記事等

車両番号
初度登録年又は初年度検査年
車台番号
点検時の総走行距離
km
点検年月日
年　月　日
整備完了日
年　月　日
タイヤの溝の深さ
F　mm　R　mm
ブレーキパッド残量
F　mm　R　mm

点検又は整備を実施した者の氏名
印
住所
〒

定期点検整備記録簿（電動車）

二輪車	該当なし	／	交換	×	締付	T
	点検	✓	修理	△	清掃	C
	分解	○	調整	A	給油	L

● 6 ヵ月点検整備……
●12 ヵ月点検整備……　＋
※納車時点検は 6 ヵ月点検に準ずる

電動機点検

■ 本体
- 電動機の作動状態・異音の有無
- 低速・加速の状態

ステアリング装置点検

■ ハンドル
- 操作具合

■ フロントフォーク
- 損傷
- ステアリングステムの取付状態
- ステアリングステムの軸受け部のがた

足回り点検

■ ホイール
- タイヤの空気圧
- タイヤの亀裂・損傷の有無
- タイヤの溝の深さ・異常な磨耗
- ホイールのボルト・ナットの緩み
- フロントホイールベアリングのがた
- リヤホイールベアリングのがた

■ サスペンションアーム
- 連結部のがた・アームの損傷

■ ショックアブソーバー
- 損傷・オイル漏れの有無

その他

- フレームの緩み・損傷
- シャシ各部の給油脂状態

ブレーキ点検

■ ブレーキペダル及びブレーキレバー
- 遊び
- ブレーキのきき具合

■ ロッド及びケーブル類
- 緩み・がた・損傷

■ ホース及びパイプ
- 漏れ・損傷・取付状態

■ リザーバタンク
- ブレーキ液の量

■ マスタシリンダ・ホイールシリンダ及びディスクキャリパ
- 機能・磨耗・損傷

■ ブレーキドラム及びブレーキシュー
- ドラムとライニングのすき間
- シューの摺動部分・ライニングの磨耗

電気・保安装置点検

■ バッテリー
- 本体の損傷・ターミナル部の緩み損傷の有無

■ 電気配線
- 接続部の緩み損傷

■ スイッチ類
- 灯火装置・方向指示器の作用
- ホーン・ハンドルロック装置の作用
- 計器の作用

■ その他必要となった点検整備の内容及び主な交換部品 / 記事等

車両番号
初度登録年又は初年度検査年
車台番号
点検時の総走行距離
km
点検年月日
年　月　日
整備完了日
年　月　日
タイヤの溝の深さ
F　mm　R　mm
ブレーキパッド残量
F　mm　R　mm

点検又は整備を実施した者の氏名
印
住所
〒

MEMO

XEAM

企画販売元：株式会社　MS ソリューションズ
MAIL：info_xeam@mssjapan.jp (24 時間受付)

最新の取扱説明書はこちらをご覧ください。
https://www.xeam.jp/reet/